



 **Black Cherry**

ブラックチェリーコミックス

絶界牢獄・完 永遠の牢獄（後編）

漫画●**皐月フミ**

デザイン●**マイクロハウス**

発行●**株式会社キルタイムコミュニケーション**

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

編集部 TEL03-3551-6147 / FAX03-3551-6146

営業部 TEL03-3555-3431 / FAX03-3551-6146

© 皐月フミ

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

<https://ceriseroze.jp/r18/>

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど、どしどしお書きください！ 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

アンケートフォーム

<https://ktcom.jp/goiken/>

手紙・ハガキ・メールの宛先



〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

(株)キルタイムコミュニケーション

ブラックチェリーコミックス感想係

メールアドレス blackcherry@ktcom.jp

Illustration by 皐月フミ

『絶界牢獄・完 永遠の牢獄 後編』

©KILL TIME COMMUNICATION





絶界 牢獄 完

成年
コミック

永遠の牢獄 後編

皐月フミ
Presented by Fumi Satsuki





本当の歴史か



あれ？



こんな時間に
どうしたの
お前

テメエは…



おい

入るぞ

タン



どうやってここまで来た…というか

どうしたそれは



こいつがナンパしてきたからぶちのめして案内させた

おいっ

悪魔か？ 貴様は



あいつ本当に
懲りねえな

はいっ



アレックス
起きてるなら
さっさと帰れ



わざとやって
いるんだろう

あ？



業務に決まってる

珍しく優しいなあ

それで助けに来て
くれた訳？



あれっ
ソジユン
何でこんなところに

お前がラルミナに
拉致らちられたと
連絡が入ったから

というか……
お前どうにか「刑期」を
延ばそうとしてないか
ここを
「卒業」したくなくて

さあねえ

まあ特別監察隊が
居心地いいのは
確かだけど

……そうだな
だがあまり長くいると
後悔するぞ

人種差別されて
同僚軒並み^{のきな}
半殺しにするより？

所内の人間関係を
壊滅させた奴には
言われたくない




それで用事は？

この島の秘密も
テメエの正体も大体
聞いたぞ魔物に



……そうか
それで？



ならば「魔王」としては
全力で阻止せねばな



そう
テメエは魔王であり
矯正監

それが諸悪の根源だ




今更何を




いや言葉通りじゃなくて…

俺が聞いた話はこうだ



やっぱりこの島は
ぶっ潰すしかねえ




その昔
魔王と呼ばれる者が
世界を手中にせんとして
いました

しかし彼を
ある国の艦隊が
この島まで追い詰める

彼はこの島全体に
結界を張ったのです

それは
入ることは出来ても
魔王の許可なしには
誰も出られない蟻地獄



それでも一人の青年が
魔王を瀕死にまで
追いやりました



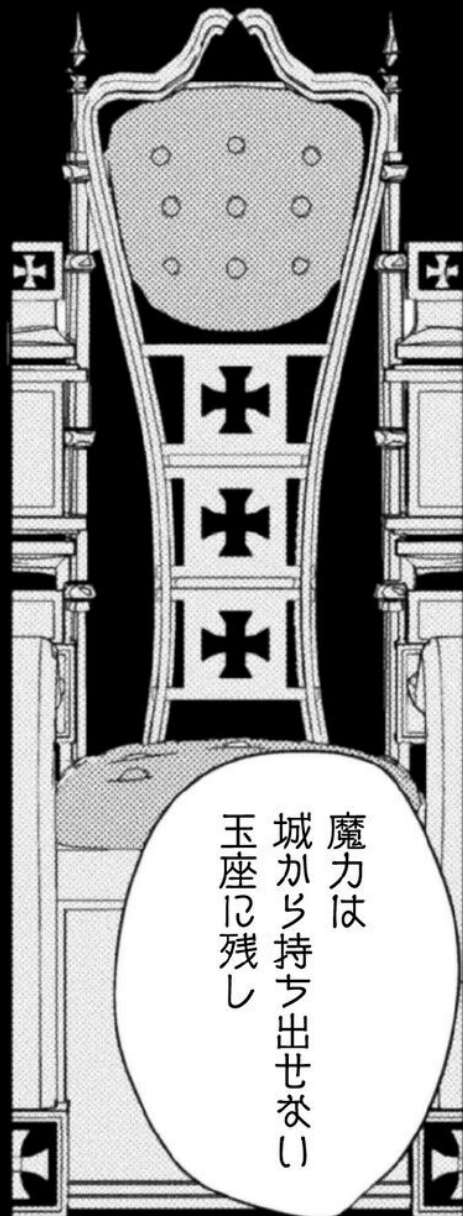
それこそが
魔王の狙い
だったのです



とどめを刺すために
近寄る青年でしたが



結果は魔王本人が
島の外に出なくては
解けないと
種明かしして死んだ



魔力は
城から持ち出せない
玉座に残し



一瞬の間をついて
奴は男にわざと
自分の能力を与え

つまり
島から出れば魔力を失うから
魔物は操れなくなり
結果も解けて
また世界に魔物たちが
解き放たれる

自分さえ我慢すれば
もう誰も死なない


だからそいつは
次の魔王として
島に残った

そしてここが魔物の棲む
島なことは秘匿され
力だけが人から人へ
継承されるようになり

ここは刑務所として
使われることになった


ここは魔物に
とっても蟻地獄です

でも我ら弱い者には
居心地がいい



今の魔王様は
秩序的かつ公平で
あなたが思うより
慈悲深い


慈悲深い？



だから我々は
あの方にずっとこの島に
いていただきたい

そのためには愛も欲も
覚えないで
いただきたいのです

何でだよ



あなたも魔王様も
コミュ障が
酷すぎないですか？

あいつと一緒にすんな

誰かに執着すれば
その人が異動したり
死んだりした時に
ここを出ていくかも
しれないでしょう？
それだけは避けたい
だからあなたを魔王様から
遠ざけたいのです

魔物らしい
考えだわ

逆に特別監察隊は
あなたを仲間にした
いようですよ

管理するために

はー
どいつもこいつも
めんどくせえって
いうか
何で俺なんだよ……

何ででしょうね

……これが俺の聞いたこと
こっからは推測だけ

テメエのフルネーム
たちばなりいち
立花理一だったよな？



見た目からして外国人だ
それなら普通は
矯正監になんてなれない

だからここの
矯正監なんじゃねーか？

何を言っている

キャリアが欲しい外国人
それも絶対に職務放棄
しなさいそんな奴を
抜擢してるんだろ

……だったらどうする

やっぱこの島は
ぶっ潰すしかねえ
こんな刑務所
あつてたまるか

何百年も
様々な人間が
関わってきたても
無理だったんだぞ

スッ



はあ？

そのためにはまず
俺を特別監察隊に入れる

あの制服あれば
魔物と同じような力
使えるんだろ？



やめておけ
きっと後悔する

何を

不老不死の
魔王に近い力
それは寿命もだ



うるせえ
試さないよりは
いいだろ

いいことじゃねーか？

あつ

そーいやテメエ
歳いくつなんだ？

ずっと気になってたん
だよな

…27の時にここにきて
10年経つ

何だよ
中身はおっさんじゃ
ねーか

お望みの制服だ
これを着れば強靱な
力を得られる

地雷踏ンダナ

ん？

いいから着ろ
そして効果の程を
自分の体で確かめろ

それで何で
こうなるんだよ！

下手に動くと
危ないぞ

貴様もともと頑丈だろう？
それでちよっと
試してみたいことが
あったものの

個人的な好奇心だし
万が一のことがあつてはと
思うと出来ないことが
あつてな

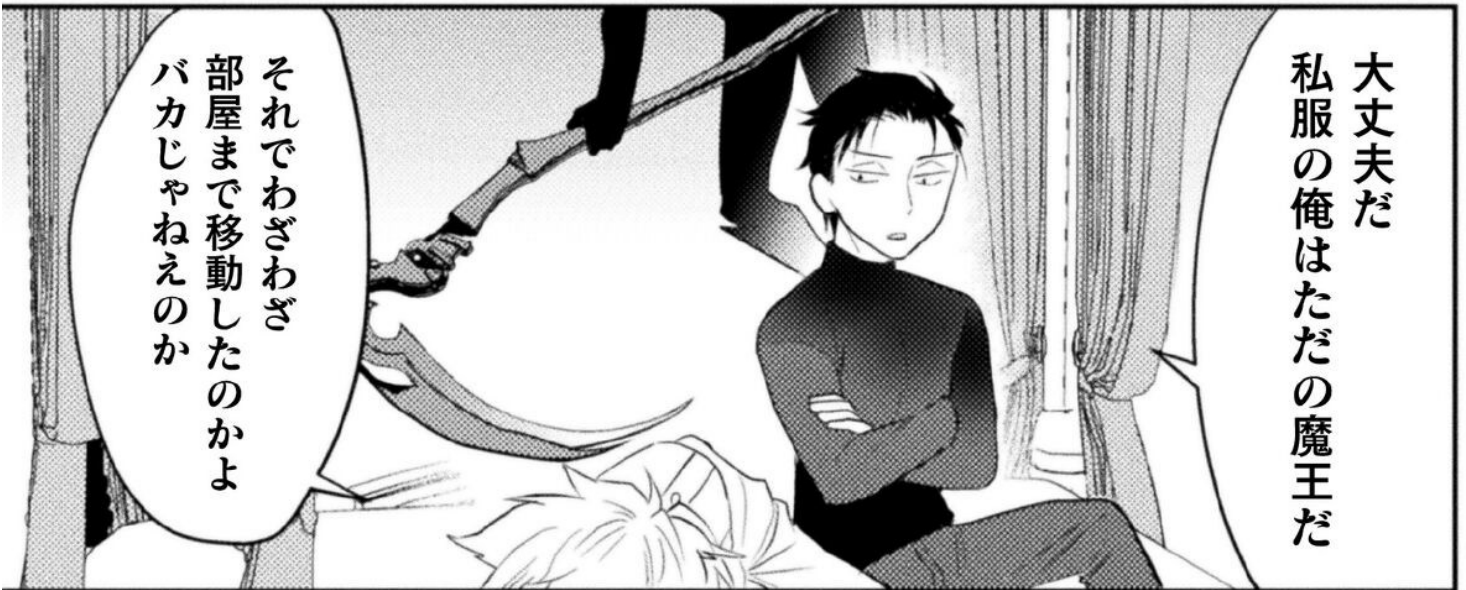
それなら
すんじゃねえ

あれだけ
色々入るなら
俺の腕くらい
余裕じゃないか？と

腕をどこに



余裕じゃねえわ！
フーか
公私混同すんじゃねえ



大丈夫だ
私服の俺はただの魔王だ

それでわざわざ
部屋まで移動したのかよ
バカじゃねえのか



目覚めた自覚は
ある訳だ



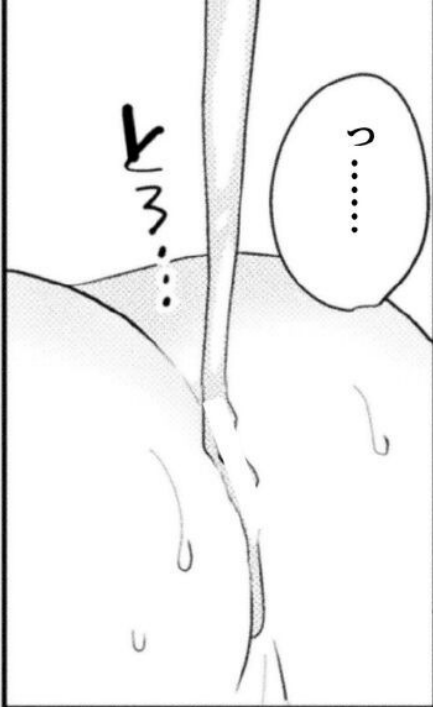
失礼な
というかすでに
期待しているんじゃないのか？

あ？



変な趣味に
目覚めたな

誰のせいだと
思ってたんだ





あ

お

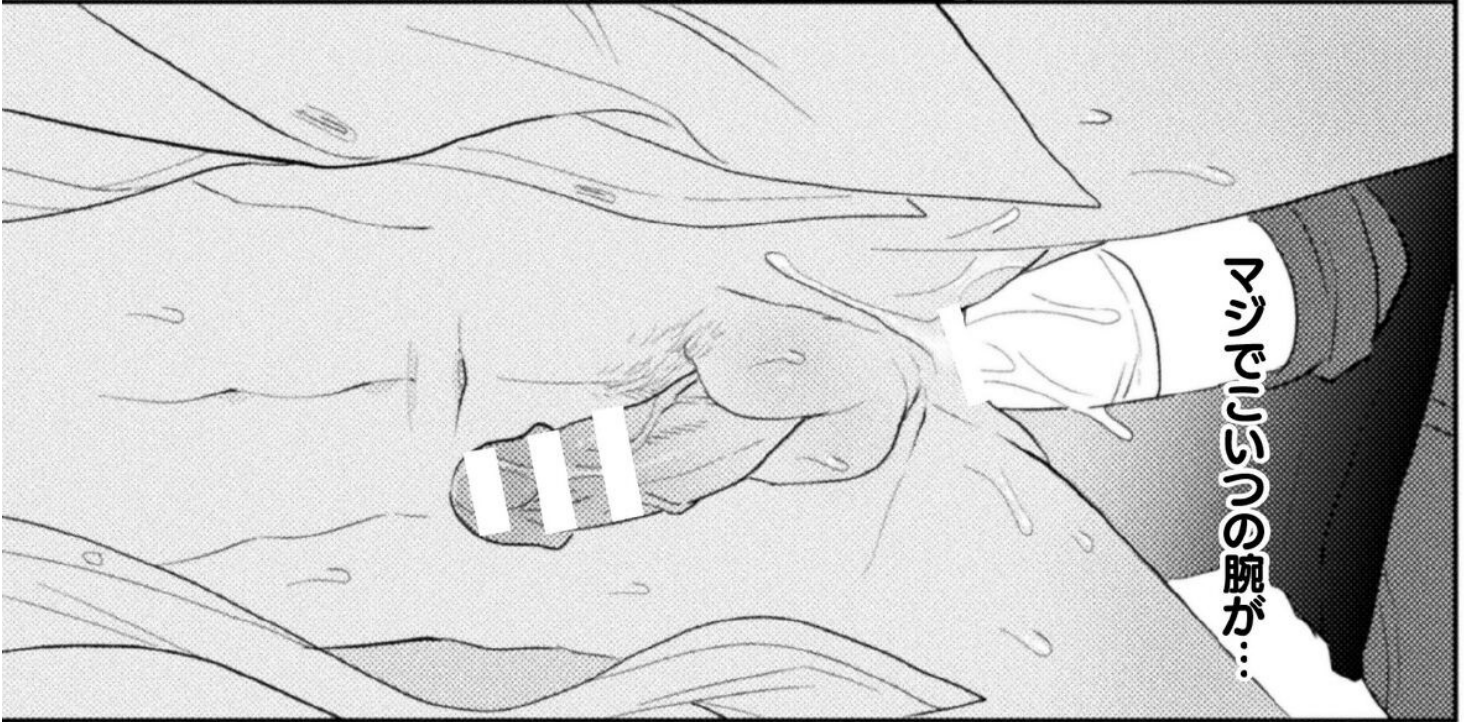
お...



ぬるの...

え.....

おい
ここからは動くなよ



マンレイジの腕が...



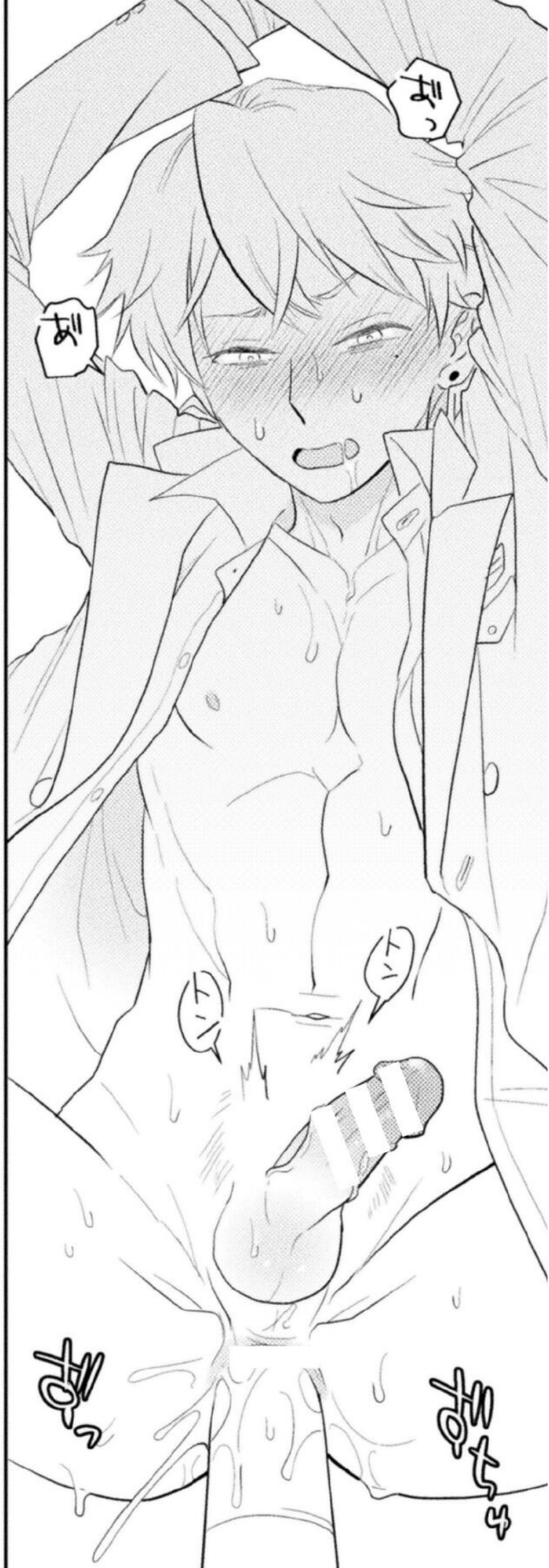
それでも平気なのは
この制服のおかげか？

こんなイカれた
装備紹介あるか???



ツীগイラジの
せめて細い女の腕で
やるもんじゃねーのか？

は...





だって今までみたいに



催淫効果の触手だとか



似たようなスライムだとか

壊れた性欲バランスだとか

ムカつく暗示だとか

強制的な淫夢だとか

おっ

おっ

おっ

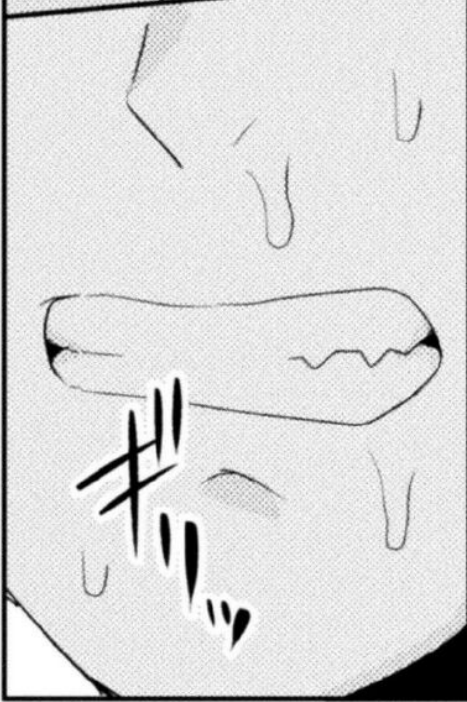
おっ

おっ





そーごうのーちなへんて
しゅんなので感じるなごて



ただの変態じゃねえか!!





やめ

あっ
あざっ

あざっ
あざっ...

ちよっ

あ

もし性器ですら一のこ
うまでのより硬いのこ
なんでこんな
やだ
こんなので
感じたくねえ

でも...

ナ



変態とか
もう今更だな

発散せよ
我慢するよりは

かっ

ちよこ
やりすぎたか?

おい
大丈夫か

ぬぼっ

テメエよりは
マシだと思えば
まあいいわ

何か知らんが
変態の基準を
俺にするな

貴様は初めて顔を
合わせた時からそうだ

特別監察隊に入るのなら
口の利き方から
躰けてやる

今はそんなこと
どーでもいいんだよ

テ・メ・エ・だ・つ・て
限界だろ？

腕だけで
いいのかよ？

……そういう時にも
素直に『挿れてください』
と言えるように
ならないとな？

あ？

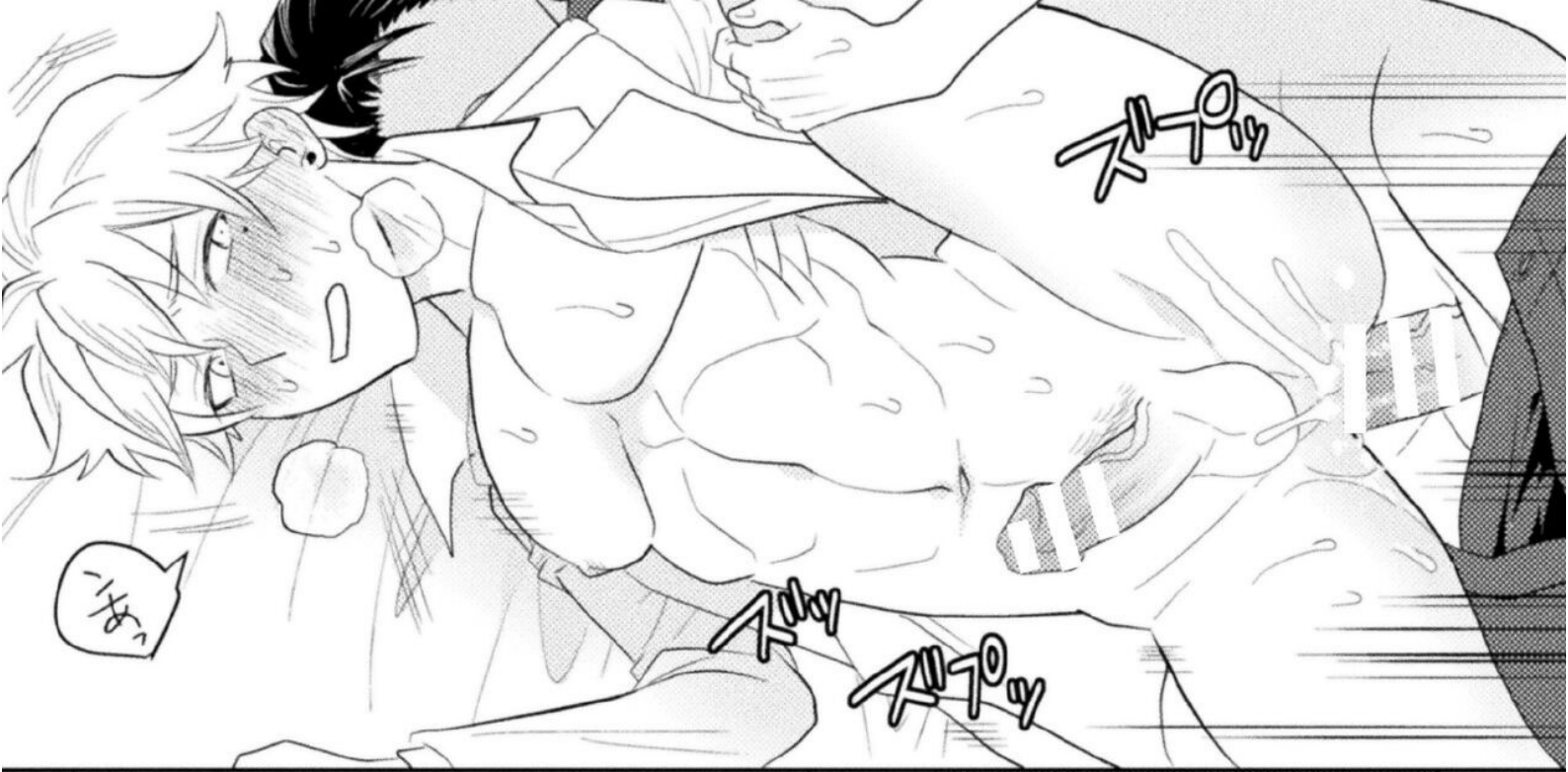
ん

あれ？
なんかこの感覚
前にも……

それまで入ってたのより
小さいのにみたいなの

んんん

んんん



は？

腕もまんざらじゃ
なかったのとか

奥触るだけで
イキそうなのとか

強気に出て
それをごまかそうと
してるのとか

っ……っ

これまでの調教の成果
最大限出てるようで
満足している

はあぁ…!?

別にこういう形で
屈服させたかった
訳じゃないんだがな

不本意だが
よしとしよう

ふざけんな
俺は別に
負けてなんて



そんな有様でか



あ...っ
やめ



え?
あれだけで
イったのか...?



もうどこを
触ってもイける
みたいだな



そっ…んなこと
ねえ…



じゃあ最後に
契約の悪魔の契約も…
俺に逆らえない契約も
解除してやる

さあ
向かってきてみる

!

あそこまで言われて
俺 何で反撃できないんだよ

もう何も
障害はないのに

あーそっか…
何も障害がないからか…

はっ
あまッ

クミ

ク
ッ

あ♡

ク
ッ

ク
ッ

ク
ッ

ク
ッ

ク
ッ

ク
ッ

ク
ッ

ク
ッ





頭がぼーっとする
もう手は入ってないのに
それも入ってるみたいで

こんな感覚は
初めてだ

あはっ

ぎゅん

ぬちゅ

アッ

待っ…

も無理

奥さん…な

勝手に言う

クィン

クィン

クィン

クィン

はあ……っ

えっ？

あつ
もういい

いいつつて
んだろ

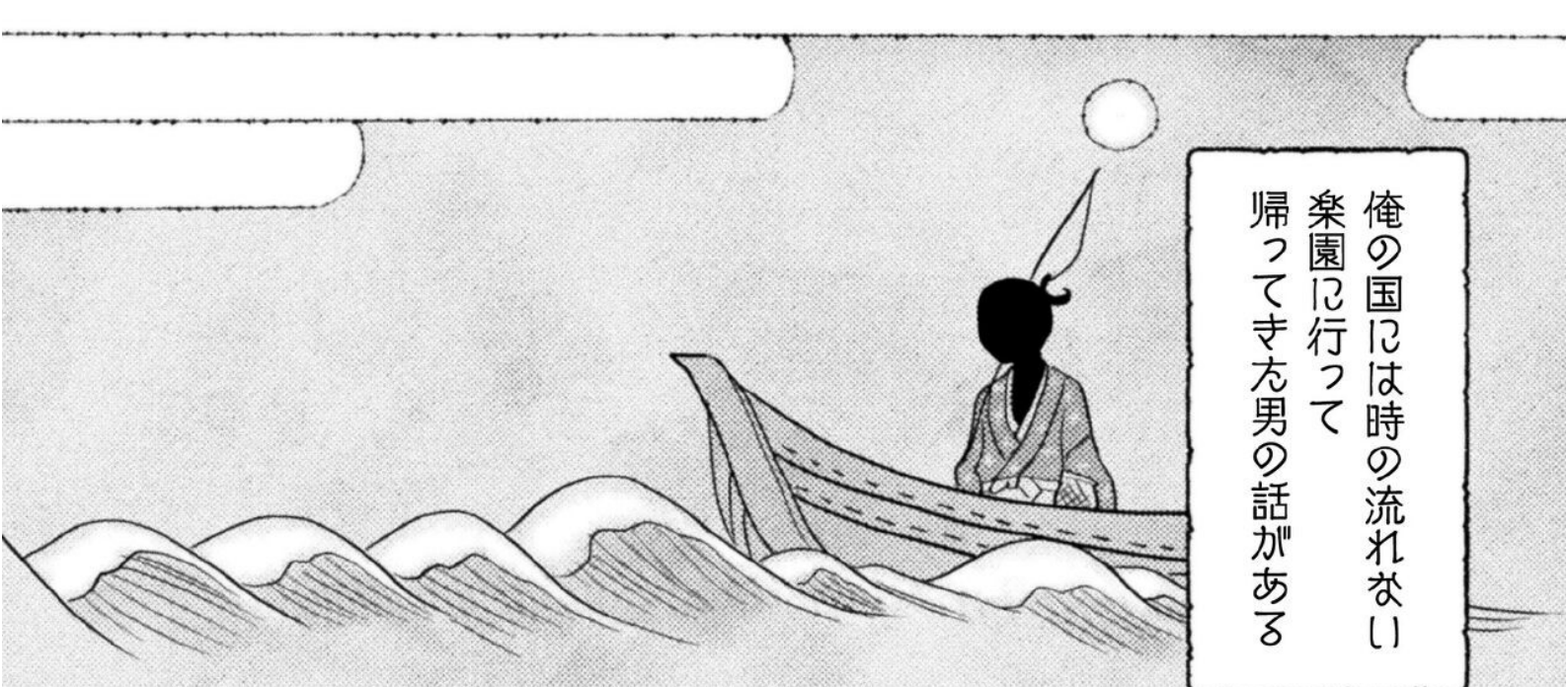
これ脱ぐから
寝かせ……

貴様は何度
返り討ちに遭えば
分かるんだろうな


うるせえ……

そんな物覚えの悪い貴様にも
分かりそうな喩え話を
教えてやろう


？




俺の国には時の流れない
楽園に行つて
帰つてき丸男の話がある




彼はそこで数年
遊んどろ思つてい丸が
実際には数十年もの
時が経ち



誰も彼のことを覚えて
おらず
時代の変化にも
ついていけず
彼はひどく悲しんだ



あー……
なるほど……



魔物と同じような
寿命を得るとは
そういうことだ



それくらいの代償は
覚悟してるわ

テメエの部下に
なるならな



そうか

これからは
退屈せずに
済みそうだ

END